

将来見据え英語力培う

人間・長谷川ゼミ

石澤 雅法さん

「培ってきた英語力を生かした仕事をしたい」と話す石

澤雅法さん(人間4・福島県日本大学東北高)。言語学を

研究する長谷川香子ゼミに所属し、英語の語源や発音などを学んでいる。「ゼミは英語のみで行われることもあり、スキルアップできた」と大学生活の手応えを語る。

長谷川教授は「明るくて思いやりがあり、ゼミ生からの信頼も厚い。課題や発表にも積極的に取り組んでいる」と人間性を高く評価。6月には母校で英語教員の教育実習を行

った。



長谷川教授(右)の指導を受ける
石澤さん(左から2人目)

3年次には米・シアトルパシフィック大学で行われた3週間の語学研修に参加。「留学に向けて長谷川教授がマンツーマン指導を行ってくれたおかげで、日常会話にはあまり困らなかつた。帰国後は英語を使う意識が強くなり、最近では困っている外国人を見かけたら積極的に自分から話しかけるようになった」と自身の変化を話す。

大学では硬式野球部にも所属し、2年次の冬からは学生コーチを務めた。チームメートから頼りにされる存在で、「小学校5年生から野球を続け、選手、コーチとしてさまざまな経験ができた。野球の指導者になりたいとも考えている。この経験は一生の宝物。今後に役立てたい」と語った。